

やまがた建設発生土リサイクルセンター
利用要領
「やまどりセンター」

株式会社 三 和

山形市五十鈴一丁目 2-3

Tel : 023-632-1131

Fax : 023-631-3510

やまがた建設発生土

リサイクルセンター

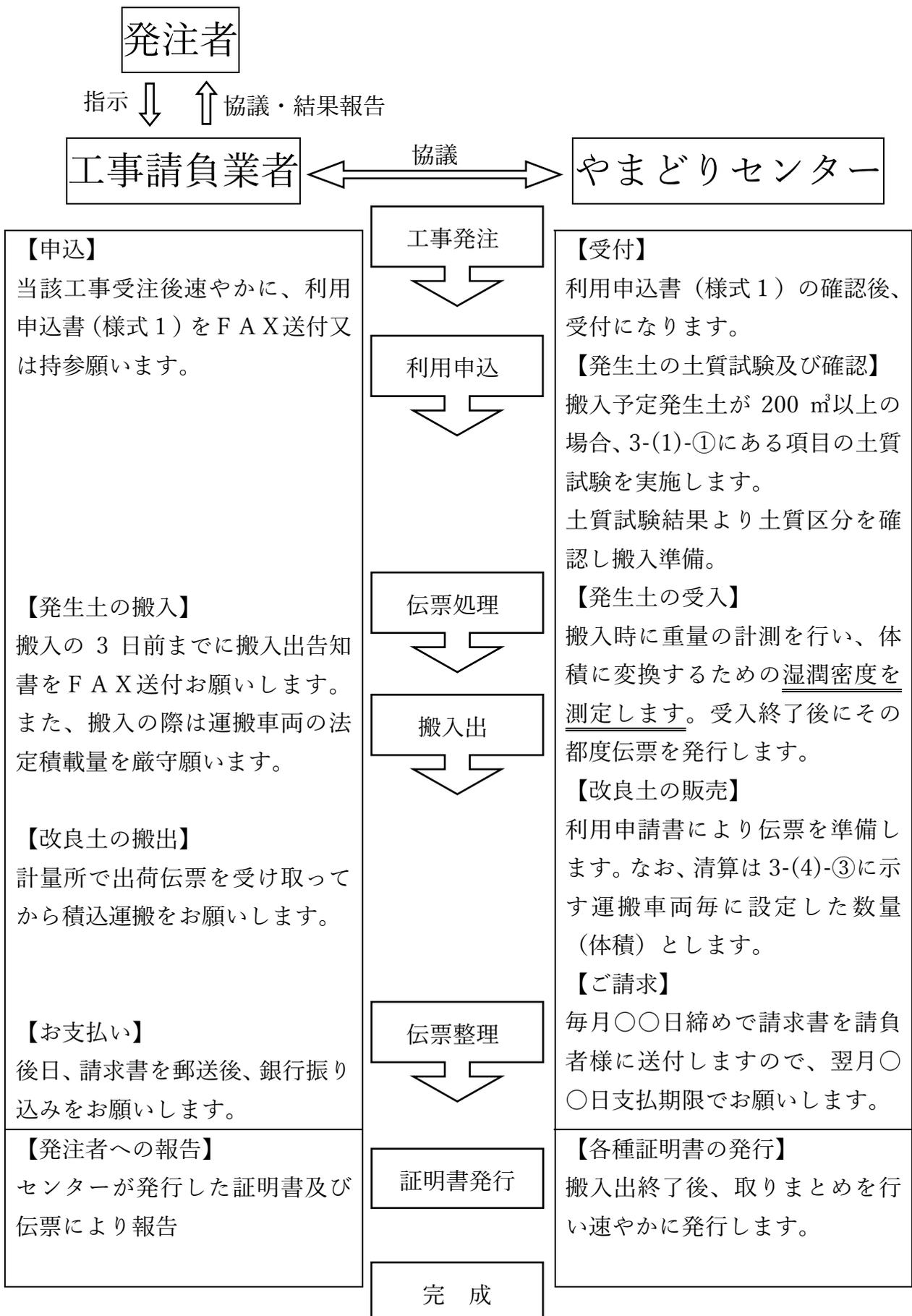
山形市大字岩波字浅布 759

(通称：やまどりセンター)

Tel : 023-673-0831

Fax : 023-673-0832

1 リサイクルセンター利用フロー



2 施設概要

(1) 営業範囲

村山総合支庁管内

(2) 処理能力及びストックヤード

○処理能力：改良機械能力 500 m³/日（最大）

○ストック量：発生土ストックヤード 約 8,000 m³

改良土ストックヤード 約 500 m³

(3) 営業時間

原則として、土日及び祝日を除く 8 時 30 分から 16 時 30 分までとします。

上記以外の日は協議の上決定します。

なお、冬期間や悪天候・機械メンテナンスにより受入中止となる場合がありますので、予めお問い合わせ願います。

3 取り扱い条件

(1) 発生土の受入条件

①土質試験済みである事（下記の試験項目）

・ pH ・含水比 ・コーン指数

②As 塊・Co 塊・木くず・ゴミ類・金属等の混入していない事。

③普通ダンプトラックで運搬が可能である事。（含水比が 80 %以下）

④水素イオン濃度（pH）が中性域である事。

（酸性土壌に対して生石灰のアルカリ成分により異常反応を起こし有毒ガスを発生する可能性があるため）

⑤粒径が 300 mm以上の巨礫及び有機質土砂・汚泥については、原則受入出来ませんが、事前に協議願います。

※①の試験については取扱量が 200 m³以上は事前に当センターが実施します。

※②③⑤については目視、④は機器により当センター係員が確認します。

※コーン指数（基準 800 kN/m²以上以下）によりヤードを変える場合がありますので係員の指示に従ってください。

(2) 改良土の取り扱い及び割増率

①改良土は生石灰による改良土のため、現場搬入後は速やかに締固めを行うか、シート等で覆い、出来る限り降雨等の影響を受けないよう養生してください。

②改良土の使用において工事目的に合致するか発注者監督員と確認してください。

- ③土量変化率のうち、締固め率は $C=0.8\sim 0.9$ (20~10%の体積減) ほぐし率 $L=1.25\sim 1.30$ (25~30%の体積増)。ロス率は5%程度を計上願います。

(3) 改良土の品質管理

- ①品質管理は室内 CBR (20%) 以上を品質目標とし、物理試験を実施します。なお、CBR 以外の品質、土質定数 (1 軸圧縮・せん断力等) については事前に別途相談願います。
- ②室内 CBR 試験及び物理試験の頻度は概ね 2,000 m³に 1 回実施します。自主基準として物理特性が大きく変化した場合はその都度、CBR 試験を実施します。

(4) 発生土、改良土の検収方法

- ①発生土：体積 (m³) により清算します。検収方法はトラックスケールによる重量測定後、事前に測定した湿潤密度 (t/m³) で除した体積とする。(伝票は重量記載)
- ②改良土：各種運搬車両毎の積込可能体積 (目安) に運搬台数を乗した体積とする。
- ③各種運搬車両毎の積込可能体積表

車輛種類	2 t 車	4 t 車	10 t 車	前記以外の車両
改良土積載量 (m ³)	1.3	2.5	6.0	協議

④土質ごとの湿潤密度「嵩密度」(目安)

土 質	シルト	密な粘土	ゆるい粘土	有機質土
湿潤密度 (g/cm ³)	1.70	1.65	1.50	1.40

(5) 1 日当たりの許容台数

- ①発生土搬入：10 t 車で 30 台程度 (事前に打ち合わせをお願いします)
- ②改良土搬出：10 t 車で 30 台程度 (事前に打ち合わせをお願いします)

(6) 搬入・販売価格

公表されている山形県県土整備部発刊の土木関係設計単価 (山形地域) による。
 なお、上記単価表に計上されていない場合や、特殊な事情が発生した場合は相互の協議により決定する。

発行日 令和 年 月 日

搬入・搬出証明書

〇〇会社

代表取締役 〇〇 〇〇 殿

工事名：令和 年度〇〇〇〇工事

やまがた建設発生土
リサイクルセンター 印

Tel：023- -

Fax：023- -

やまがた建設発生土リサイクルセンターに下記数量の建設発生土搬入及び再利用改良土搬出のあったことを証明いたします。

品名	計画数量	実搬入・出数量
建設発生土	m ³	m ³
再利用改良土	m ³	m ³